

2022年上半期分 成田空港貨物取扱量

ー 総取扱量（上半期）、2年連続で100万トンを突破 ー

1. 概要

2022年上半期の成田空港における国際航空貨物取扱量は、

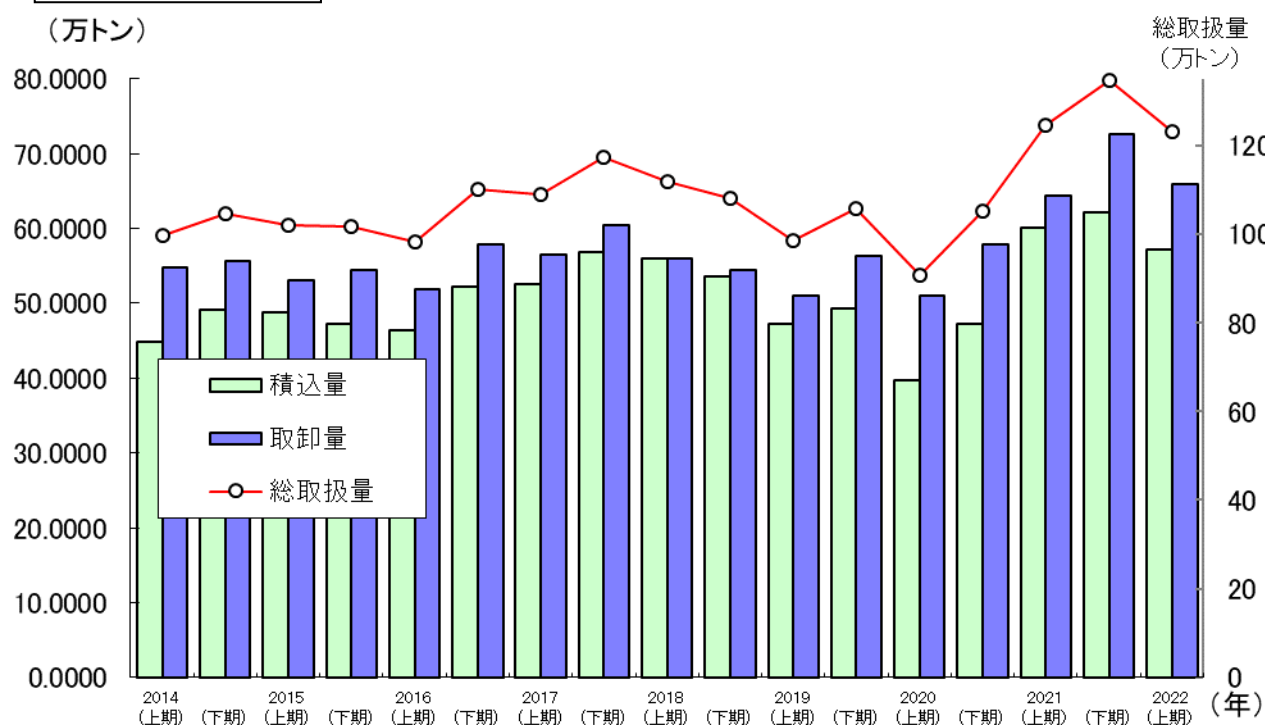
総取扱量 約 123万1千トン （前年同期比 1. 1%減）

積込量 約 57万2千トン （ 同 4. 8%減）

取卸量 約 66万トン （ 同 2. 4%増）

となり、前年同期比で総取扱量、積込量はマイナス、取卸量はプラスとなった。

取扱貨物量の推移



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（成田航空貨物出張所）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関成田航空貨物出張所通関総括第2部門（TEL0476-32-6116）までお願いします。

2. 通関地域別動向について

(1) 輸出力

成田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

成田地域通関 14万5千トン（前年同期比 10.2%減、シェア35.3%）

その他地域通関 26万5千トン（同 4.1%減、同 64.7%）

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにマイナスとなった。

(2) 輸入量

成田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

成田地域通関 40万6千トン（前年同期比 5.5%増、シェア82.5%）

その他地域通関 8万6千トン（同 7.8%増、同 17.5%）

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにプラスとなった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 16万2千トン（前年同期比 0.8%減）

取卸量 16万8千トン（同 6.5%減）

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともにマイナスとなった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向（他官署通関分を除く）

2022年上半期の成田空港で輸入された貨物（成田地域通関分）を生鮮貨物、ドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 5万1千トン（前年同期比 6.5%減、シェア12.5%）

ドライ貨物 35万5千トン（同 7.4%増、同 87.5%）

となった。

成田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

（単位：トン）

		2022年上半期		2021年上半期	
成田空港輸入貨物量		405,738	(105.5%)	384,727	(127.7%)
内 訳	生鮮貨物量	50,918	(93.5%) [12.5%]	54,482	(114.2%) [14.2%]
	ドライ貨物量	354,820	(107.4%) [87.5%]	330,245	(130.2%) [85.8%]

注. () 内は前年同期比、[] 内は構成比である。